

## ■ 『HEX BUG Crab』とは？

アメリカのロボティクスの分野では先端的な役割を担っているInnovation First社の開発した、小型のカニ型ロボットです。複数の足を動かしながらカニそっくりに横方向に歩くだけでなく、光と音のセンサーを搭載することで、その生態を非常にリアルに再現しています。音センサーで音を検知すると、驚いたように進行方向を変えます。光センサーで暗闇を検知すると、岩場の影に隠れるかのように動きを止めます。よりリアルなカニの動きを再現するため、暗い場所に入ってある程度奥に進んでから止まるように、暗闇を検知してから約3秒後に動きがストップするようにプログラムされているのもポイントです。



## ■ ロボコン博士が語る、「HEX BUG Crab」の魅力

日本のロボット研究の権威、またロボットコンテストの創始者でもある森政弘東京工業大学名誉教授は、本商品に対して以下のようなコメントを下さいました。

「このたび新しくInnovation First社によって開発されたHEX BUG Crabは、素晴らしいロボットです。とくにその小型でチョコチョコ動くところが何とも言えず魅力的です。かつて私達が1960年代後半から10数年にわたり研究をしていた「メカニマル」(※)より寸法的に約1/3、体積で大体1/10程の小ささで、よくもこんなに小さくまとめることが出来たと感心しました。しかも電子回路まで装備して、光や音に反応するようになっています。まったくInnovation First社の腕前と、ここ40年間の技術進歩、とくに小型モータの進歩に敬服します。」



※メカニマル:メカニカル[機械の]とアニマル[動物]の合成語で、動物の骨格・関節・筋肉を機械的な装置で再現しようとする試み。カニをモチーフにしたロボットも存在する。現在は東海大学海洋科学博物館に公開展示され、研究が続けられている。

### 『HEX BUG』

通常は教育機関向けのロボット製品を開発しているInnovation First社が、より多くの方にロボットを楽しんでもらいたいという考えから、低単価で簡単に楽しめる昆虫型ロボットとして開発し、アメリカで2007年5月に発売したのが「HEX BUG」(全7種/1,995円・税込)です。小型ながらも最先端のハイスペックな機能が盛り込まれており、虫の動きをリアルに再現した、スピーディでユニークな動きを繰り広げます。一方、ボディデザインは、テントウムシ、カメムシ等の一般的な虫の要素を抽出してデフォルメし、鮮やかなクリアカラーを採用しており、見た目もスタイリッシュで、インテリアホビーとしてもお楽しみいただけます。

日本ではバンダイが2007年9月に発売し、スタイリッシュなデザインとユニークな動きが人気となり、累計販売数が12万個を突破するヒット商品となっています。



## <商品概要>

- 商品名 : HEX BUG Crab (ヘクスバグ クラブ)
- 希望小売価格 : 各2,625円(税込)
- 発売日 : 2008年8月9日
- 種類 : 全2種 (RED、BLUE)
- メインターゲット : 20~30代の男性
- 販売ルート : 雑貨店、百貨店、量販店の玩具売場や玩具専門店など
- 本体サイズ : H45×W65×D50 (mm)
- 重さ : 約30g
- 電池 : LR44×2 (テスト用電池付)

